

「令和5年度学校評価」結果報告(その1)

松前町立岡田中学校

≪ 判定の基準 ≫ A = 肯定率80%以上 B = 肯定率60以上80%未満 C = 肯定率40以上60%未満 D = 肯定率40%未満

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	学校による考察
			4	3	2	1					
重点目標(学習指導)について	生徒1	私は、『校訓「強くあれ」のもと、成長し続けるたくましい生徒』をめざして努力している。	73人	100人	22人	12人	207人	3.13	84%	A	学力向上推進計画に基づき、学習の基礎・基本の定着を図り、楽しいと思える授業を目指して授業改善に取り組んでいるが、生徒・家庭・学校の三者間で、それぞれの思いや願いに違いが見られる。激しい変化が予想される社会において、一人一人が困難な状況に立ち向かうことが求められている。そのためには個性を発揮し、直面する課題を乗り越えて、未来を切り拓くたくましい人間の育成を目指して、生涯にわたり学び続ける力を育むことが必要である。生徒・家庭・学校の三者間において、学力のとらえ方で立場により違いはあるが、知識や技能だけでなく、主体的な意欲や態度、課題を発見し解決していく資質や能力をさらに育てていくことで、更なる学力の向上・定着を図っていきたい。
			35.3%	48.3%	10.6%	5.8%					
	生徒2	宿題や予習・復習など家庭学習に計画的に取り組んでいる。	47人	101人	44人	15人	207人	2.87	71%	B	
			22.7%	48.8%	21.3%	7.2%					
	生徒3	授業は分かりやすく、充実して楽しい。	54人	94人	50人	9人	207人	2.93	71%	B	
			26.1%	45.4%	24.2%	4.3%					
	生徒4	授業はペアやグループ活動など、級友と協力して学習する活動が取り入れられている。	99人	86人	15人	7人	207人	3.34	89%	A	
			47.8%	41.5%	7.2%	3.4%					
	生徒5	授業では、一人一人に応じたきめ細かな学習指導が行われている。	39人	90人	65人	13人	207人	2.75	62%	B	
			18.8%	43.5%	31.4%	6.3%					
	生徒6	将来の生き方を考え、進路を選択していくために、体験活動の実施や進路に関する情報提供が適切に行われている。	67人	96人	37人	7人	207人	3.08	79%	B	
			32.4%	46.4%	17.9%	3.4%					
	保護者1	家庭では子どもが、宿題や予習・復習など、家庭学習をするように努めている。	20人	60人	30人	3人	113人	2.86	71%	B	
			17.7%	53.1%	26.5%	2.7%					
	保護者2	学校は、工夫して分かりやすい授業づくりに努めている。(参観日やお子さんの話などから)	7人	77人	27人	2人	113人	2.79	74%	B	
6.2%			68.1%	23.9%	1.8%						
保護者3	学校は一人一人に応じた学習指導に努めている。(参観日やお子さんの話などから)	4人	67人	33人	9人	113人	2.58	63%	B		
		3.5%	59.3%	29.2%	8.0%						
保護者4	学校は、職業や高校など、進路についての適切な指導や情報提供をしている。	12人	67人	28人	6人	113人	2.75	70%	B		
		10.6%	59.3%	24.8%	5.3%						
教職員1	基礎学力、学習習慣の確立に努めた。	4人	11人	0人	0人	15人	3.27	100%	A		
		27%	73%	0%	0%						
教職員2	学ぶ意欲を引き出す教材研究や、ICT機器や視聴覚機器の効果的な活用に努めた。	2人	12人	1人	0人	15人	3.07	93%	A		
		13%	80%	7%	0%						
教職員3	ペア学習やグループでの話し合い活動など、協働学習の場面を設定した。	6人	8人	1人	0人	15人	3.33	93%	A		
		40%	53%	7%	0%						
教職員4	適切な学習状況の評価の工夫をし、個別指導に生かすなど、改善を行った。	0人	12人	3人	0人	15人	2.80	80%	A		
		0%	80%	20%	0%						
教職員5	自分自身を見つめ、自らの意志と責任で進路指導選択ができる生徒の育成に努めた。	0人	13人	2人	0人	15人	2.87	87%	A		
		0%	87%	13%	0%						

「令和5年度学校評価」結果報告(その2)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	学校による考察
			4	3	2	1					
重点目標(心の教育)について	生徒7	道徳科の授業を通して自分の生き方を見つめ直すことができた。	79人 38.2%	88人 42.5%	33人 15.9%	7人 3.4%	207人	3.15	81%	A	道徳的価値を自分の事として理解し、深く考えたり、議論したりする道徳教育の充実を更に図っていききたい。また、学校生活の中で、教師が生徒と共に過ごす時間を大切に、楽しいとき、嬉しいとき、困っているとき、辛いときを生徒と共有することで、表情で生徒に安心感を与え、素直な気持ちを言葉にしたり、生徒の気持ちに共感したりすることで、生徒との信頼関係の構築を更に図っていききたい。また、個に応じた迅速な対応ができる安心できる存在となるように努めたい。
	生徒8	いろいろな場面で、思いやりや支え合う気持ちをもって学校生活を送ることができた。	102人 49.3%	90人 43.5%	12人 5.8%	3人 1.4%	207人	3.41	93%	A	
	生徒9	清掃活動や校内外のボランティア活動に積極的に参加できた。	71人 34.3%	78人 37.7%	45人 21.7%	13人 6.3%	207人	3.00	72%	B	
	保護者5	子どもの学級にはまとまりがあり、一人一人を支え合う雰囲気がつくられている。	14人 12.4%	70人 61.9%	23人 20.4%	6人 5.3%	113人	2.81	74%	B	
	教職員6	道徳の時間の確保と指導の工夫・充実に努めた。	1人 7.7%	7人 53.8%	5人 38.5%	0人 0.0%	13人	2.69	62%	B	
	教職員7	自らの良さを認め、共に高め合う生徒の育成に努めた。	1人 6.3%	14人 87.5%	1人 6.3%	0人 0.0%	16人	3.00	94%	A	
	教職員8	清掃活動や校内外におけるボランティア活動の推進に力を入れている。	2人 12.5%	12人 75.0%	2人 12.5%	0人 0.0%	16人	3.00	88%	A	
重点目標(生徒指導)について	生徒10	悩みや心配なことがあれば、日記や休み時間・放課後などで相談できる先生がいる。	51人 24.6%	68人 32.9%	58人 28.0%	30人 14.5%	207人	2.68	57%	C	生徒一人一人と十分に関わる時間を確保することで、相談窓口を拡充させるとともに、あゆみ指導や「生活アンケート」の実施などをさらに充実させ、生徒のニーズに添えていきたい。また、生徒理解に努め、コミュニケーションの充実も図ることで、「自分の気持ちを打ち明けることができる」環境を整備していきたい。様々な多岐に渡る課題に対して、教員のみで対応するのではなく、校内外の様々な専門職との連携や、保護者との連携を密にし、生徒一人一人に寄り添った適切な対応を心掛けたい。
	生徒11	先生は、生徒の悩みや相談事に親身に対応している。	71人 34.3%	81人 39.1%	43人 20.8%	12人 5.8%	207人	3.02	73%	B	
	生徒12	自分には「よいところ」があると思う。	73人 35%	74人 36%	38人 18%	22人 11%	207人	2.96	71%	B	
	生徒15	毎朝朝食をとる、服装や身だしなみを整える、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付いている。	115人 55.6%	66人 31.9%	19人 9.2%	7人 3.4%	207人	3.40	87%	A	
	保護者6	学校は、日記指導や教育相談等を通して、生徒の悩みや問題の把握に努めている。	13人 11.5%	64人 56.6%	30人 26.5%	6人 5.3%	113人	2.74	68%	B	
	保護者7	学校は、いじめ問題の早期発見・解決に積極的に取り組んでいる。	8人 7.1%	66人 58.4%	34人 30.1%	5人 4.4%	113人	2.68	65%	B	
	保護者10	学校は、ルールやマナーなど、社会に適用する指導をしている。(身だしなみなど)	25人 22.1%	77人 68.1%	10人 8.8%	1人 0.9%	113人	3.12	90%	A	
	教職員9	日記指導や教育相談等を通して、生徒の悩みや問題を把握できた。	1人 8%	12人 92%	0人 0%	0人 0%	13人	3.08	100%	A	
	教職員10	いじめ・非行問題・不登校など生徒指導上の問題に対して適切に対応した。	1人 6%	15人 94%	0人 0%	0人 0%	16人	3.06	100%	A	
	教職員11	服装や身だしなみを整える、時間を守ることなど基本的な生活習慣の励行に努めた。	7人 44%	9人 56%	0人 0%	0人 0%	16人	3.44	100%	A	
	教職員12	人権・同和教育の視点に立って望ましい仲間意識を育てている。	2人 13%	14人 87%	0人 0.0%	0人 0.0%	16人	3.13	100%	A	

「令和5年度学校評価」結果報告(その3)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	学校による考察
			4	3	2	1					
重点目標 (健康安全・生徒活動)	生徒13	交通安全や防災、健康的な生活について考える機会がある。	63人	106人	31人	7人	207人	3.09	82%	A	コロナ禍により、活動が制限されたり規模が縮小されたりしていることもあったが、生徒は落ち着いた学校生活を送れている。ただ、影響の長期化で、withコロナという考え方もある。「withコロナ」に対して、「いつも生徒が中心にいる学校」という思いで、安全で安心な学校生活を最優先に考えて取り組んでいるが、学校と保護者との間に、不安感や感染対策への考え方に違いがあるのも事実である。今後も、無理に価値観を揃えるのではなく、両者の思いや願いをしっかりと汲み取りながら生徒の育成を図っていきたい。また、積極的に学校開放を推進し、保護者をはじめ地域の方々が気軽に学校内に入れる雰囲気づくりや、定期的に懇談などができる「場」の設定等も今後の大きな課題として工夫していかなければならない。
			30.4%	51.2%	15.0%	3.4%					
	生徒14	手洗い、うがい、必要に応じたマスクの着用など、感染症対策をしっかりと行った。	120人	67人	17人	3人	207人	3.47	90%	A	
			58.0%	32.4%	8.2%	1.4%					
	生徒16	部活動(クラブ活動)への参加を通して体力の向上や礼儀を身に付けることができた。	124人	61人	11人	11人	207人	3.44	89%	A	
			59.9%	29.5%	5.3%	5.3%					
	生徒17	部活動の休養日は適切に確保されている。	104人	56人	23人	24人	207人	3.16	77%	B	
			50.2%	27.1%	11.1%	11.6%					
	生徒18	学校行事や生徒会活動に積極的に参加し、自分の存在感や成就感を得ることができた。	71人	91人	35人	10人	207人	3.08	78%	B	
			34.3%	44.0%	16.9%	4.8%					
	保護者8	学校は、子どもの安全や健康によく配慮し、指導している。	22人	80人	11人	0人	113人	3.10	90%	A	
			19.5%	70.8%	9.7%	0.0%					
	保護者9	学校は、様々な感染症の予防・対応に配慮している。	25人	87人	1人	0人	113人	3.21	99%	A	
			22.1%	77.0%	0.9%	0.0%					
	保護者11	学校は、部活動を通して気力・体力と礼儀を高める指導をしている。	15人	77人	19人	2人	113人	2.93	81%	A	
			13.3%	68.1%	16.8%	1.8%					
保護者12	部活動の休養日は適切である。	29人	61人	18人	5人	113人	3.01	80%	A		
		25.7%	54.0%	15.9%	4.4%						
保護者13	子どもは、学級活動や生徒会活動、各種学校行事に熱心に取り組んでいる。	27人	67人	18人	1人	113人	3.06	83%	A		
		24%	59%	16%	1%						
教職員13	交通安全、防災等の安全に関する指導に努めた。	4人	12人	0人	0人	16人	3.25	100%	A		
		25.0%	75.0%	0.0%	0.0%						
教職員14	食育の充実や感染症対策など健康的な生活習慣の形成に努めた。	3人	13人	0人	0人	16人	3.19	100%	A		
		18.8%	81.3%	0.0%	0.0%						
教職員15	部活動を通して気力・体力と礼儀を高める指導に努めた。	3人	11人	1人	0人	15人	3.13	93%	A		
		20.0%	73.3%	6.7%	0.0%						
教職員19	部活動の休養日が確保できている。	7人	9人	0人	0人	16人	3.44	100%	A		
		43.8%	56.3%	0.0%	0.0%						
教職員16	学級活動・生徒会活動の活性化に努めた。	1人	14人	1人	0人	16人	3.00	94%	A		
		6.3%	87.5%	6.3%	0.0%						

「令和5年度学校評価」結果報告(その4)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	学校による考察
			4	3	2	1					
地域・PTAとの連携	生徒19	学校や地域でさわやかな挨拶ができています。	97人 46.9%	80人 38.6%	23人 11.1%	7人 3.4%	207人	3.29	86%	A	教育の基盤は、信頼関係である。生徒はもちろんのこと、保護者や地域との信頼があつて、初めて効果的な教育活動が生まれる。この信頼関係は最初からあるものではなく、学校からの態度や姿勢によって構築されていくものである。したがって、その信頼関係の上に真の連携協力が得られれば、保護者も地域も学校にとってよき理解者となると考える。そのためにも、日常的に学校の情報を発信し、コミュニケーションづくりに努めることを通して、生徒や教師の姿が保護者や地域に常に見えるように努力していきたい。
	生徒20	地域の行事や活動に積極的に参加した。	92人 44.4%	69人 33.3%	27人 13.0%	19人 9.2%	207人	3.13	78%	B	
	保護者14	子どもと一緒に食事をしたり、会話をしたりするように努めている。	55人 48.7%	57人 50.4%	1人 0.9%	0人 0.0%	113人	3.48	99%	A	
	保護者15	子どもたちは、学校や地域の方々に積極的に挨拶をしている。	32人 28.3%	65人 57.5%	15人 13.3%	1人 0.9%	113人	3.13	86%	A	
	保護者16	学校は、学級通信、学校だより、ホームページ、メール配信などを通して学校のことをよく伝えている。	28人 24.8%	74人 65.5%	10人 8.8%	1人 0.9%	113人	3.14	90%	A	
	保護者17	子どもたちは地域行事に積極的に参加している。	33人 29.2%	63人 55.8%	16人 14.2%	1人 0.9%	113人	3.13	85%	A	
	保護者18	参観日や一人一役など、PTA活動に協力している。	44人 38.9%	65人 57.5%	4人 3.5%	0人 0.0%	113人	3.35	96%	A	
管理運営	保護者19	先生はゆとりをもって子どもたちと接する時間をつくられている。	8人 7.1%	66人 58.4%	34人 30.1%	5人 4.4%	113人	2.71	65%	B	業務を効率よく行う意識を高めていくことで、勤務に対する意識の変化を図っていく必要がある。また、喫緊の課題として、生徒一人一人が「楽しい学校」と言えるように、「生徒と向き合う時間」や「わかる授業の実践」のための研究の時間を十分に確保する対策を講じていかなければならない。さらに、協力体制を密にしながら、『校訓「強くあれ」のもと、成長し続けるたくましい生徒」の育成に向けて、教職員の熱き思いを全面的に押し出していきたい。
	保護者20	教員の長時間勤務等負担軽減は進んでいる。	22人 19%	80人 71%	11人 10%	0人 0%	113人	2.50	90%	A	
	教職員17	教職員の望ましい人間関係が保たれている。	0人 0.0%	15人 93.8%	1人 6.3%	0人 0.0%	16人	2.94	94%	A	
	教職員18	サービスの遵守に努めている。	7人 43.8%	9人 56.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	16人	3.44	100%	A	
	教職員20	生徒と向き合う時間の確保は進んでいる。	1人 6.3%	13人 81.3%	2人 12.5%	0人 0.0%	16人	2.94	88%	A	
	教職員21	ワークライフバランス(家庭と仕事の両立)は保たれている。	2人 12.5%	10人 62.5%	3人 18.8%	1人 6.3%	16人	2.81	75%	B	
	教職員22	働き方改革の趣旨を踏まえ、業務改善に努めている。	2人 12.5%	11人 68.8%	2人 12.5%	1人 6.3%	16人	2.88	81%	A	

備考) ※ 新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行されたことを踏まえ、今年度より質問項目も大幅に変更しています。

「令和5年度学校評価」結果報告(その5)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	記述
			4	3	2	1					
学校評価委員の 評価結果	1	学校は、子どもの安全や健康に良く配慮し、指導している。	5人 83.3%	1人 16.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人	3.29	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭では生徒は一生懸命発表をしていて感心した。 ・どの生徒もまじめで誠実な考えで行動していると思う。 ・地域の運動会、文化祭、盆踊りなどに積極的に参加し、スタッフの一員として事業の運営を行っていることに感心した。 ・自転車通学の生徒について、交差点で「止まれ」の標識がある箇所は、必ず一時停止をするよう指導をお願いしたい。 ・自転車で走行しながら「スマホ」を使っている生徒を見かけるので指導をお願いしたい。 ・不登校の子どもが多い。スクールカウンセラーの来校日を増やしてできる対策をしてほしい。 ・PTA活動の縮小に理解があり、ありがたく感じている。
	2	学校は、部活動を通して気力・体力と礼儀を高める指導をしている。	2人 28.6%	5人 71.4%	0人 0.0%	0人 0.0%	7人	3.13	100%	A	
	3	子どもは、各種学校行事に熱心に取り組んでいる。	5人 83.3%	1人 16.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人	3.48	100%	A	
	4	地域で子どもたちは、積極的にあいさつをしている。	0人 0.0%	6人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人	3.13	100%	A	
	5	学校は、学級通信、学校だより、ホームページ、メール配信などを通して学校のことをよく伝えている。	4人 66.7%	2人 33.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人	3.14	100%	A	
	6	子どもたちは地域行事に積極的に参加している。	2人 33.3%	4人 66.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人	3.13	100%	A	
	7	学校は、地域からの要望や意見に対応している。	4人 66.7%	2人 33.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人	3.35	100%	A	
	8	教員の勤務時間について、もう少しゆとりが必要である。	3人 50.0%	3人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人	2.71	100%	A	